

2012 年 1 月 24 日

各 位

本店所在地 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
会 社 名 ソフトバンク株式会社
(コード番号 9984 東証第一部)
代 表 者 代表取締役社長 孫 正義

当社子会社（株式会社ベクター）の業績予想の修正について

当社連結子会社である株式会社ベクター（コード番号 2656 J A S D A Q）は本日、別添資料のとおり、2012 年 3 月期（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）の業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

以 上

*****（本件に関する報道機関からのお問い合わせ先）*****

ソフトバンク株式会社 広報室

03-6889-2300



各 位

平成 24 年 1 月 24 日

上場会社名 株式会社ベクター
代表者名 代表取締役社長 梶並 伸博
(J A S D A Q ・ コード 2656)
問い合わせ先 東京都新宿区西新宿 8-14-24
取締役管理部長 梶並 京子
(T E L 03-5337-6711)

減損損失（特別損失）の計上、業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月期第 3 四半期において計上いたしました減損損失（特別損失）の概要をお知らせすると共に、平成 23 年 5 月 20 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期通期業績予想及び平成 23 年 10 月 25 日に公表いたしました配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 減損損失（特別損失）の発生及びその内容

当社は、本日、オンラインゲーム事業において一部タイトルの終了を決定いたしました。それに伴い、平成 24 年 3 月期第 3 四半期会計期間において、当該タイトルの減損損失 102 百万円を計上いたします。

2. 業績予想の修正

(1) 平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）通期業績予想

(単位：百万円)

	営 業 収 益	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想 (A)	4,250	450	450	250	円 銭 1,811.57
今回発表 (B)	3,638	34	40	△56	△405.79
増減額 (B－A)	△612	△416	△410	△306	
増 減 率	△14.4%	△92.4%	△91.1%	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	3,943	415	425	146	1,065.00

(2) 修正の理由

当期におきましては、当社の主力事業であるオンラインゲーム事業において、大型タイトルを中心とした事業展開を計画しておりました。しかしながら、大型タイトル以外のオンラインゲームの営業収益の減少に加え、大型タイトルに対する不正利用が多発したこと及びその対策に遅れが生じたことにより、当初の計画で想定していた人数のお客様にご利用いただけませんでした。現在におきましては、対策が奏功したことにより不正利用は減少し、お客様に再度ご利用いただ

けるようになって参りましたが、営業収益面は当初の計画を達成することは困難となりました。

利益面につきましては、営業収益の減少に対して営業費用の総額はほぼ計画通りとなることが見込まれるため、営業利益並びに経常利益の減少が見込まれます。これに加え、上記の特別損失の発生により、税引前当期純利益及び当期純利益は赤字となる見込みでありますので、平成23年5月20日に公表いたしました平成24年3月期の通期業績予想を修正いたします。

3. 配当予想の修正

(1) 平成24年3月期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）通期業績予想

	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成23年10月25日発表)	円銭 —	円銭 0	円銭 —	円銭 未定	円銭 未定
今回発表	—	0	—	0	0
当期実績	—	0	—		
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	—	0	—	500	500

(2) 修正の理由

当社は、将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施し、内部留保資金につきましては事業投資に有効活用していくことを基本方針としております。しかしながら、上記のとおり、当期におきましては赤字となる見込みであり、今後の見通しを総合的に勘案いたしました結果、無配とさせていただくことといたしました。株主の皆様には深くお詫びいたします。

当社といたしましては、その主力事業であるオンラインゲーム事業における、ゲームの適正な運営を継続することによる既存タイトルのお客様満足度の向上と、魅力的な新規タイトルの取得を両立する方針であります。また、今後の市場拡大が見込めるスマートフォン向けのサービスに対しましても事業の開拓を進めております。今後とも、業績回復を果たし安定配当の実現に向けて尽力する所存でございますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上